

No.825 August 2025

ASAHIMACHI

Public Relations

☎ 広報 あさひまち

百年の節目に、誕生。

2025

8

No.825



参加した中高生と支援センターに訪れた親子



地域の方々との交流を深めるとともに、子どもとのふれあいを通して命の大切さや親の愛情を感じてもらおうことを目的とした事業「ボランティア&ふれあい育児体験」が、8月1日に行われ、7人の中高生が参加しました。

参加者はず、子育て支援センターで遊具や室内の清掃を行い、その後、町の保健師と助産師から思春期の心と体の健康についての講話を受けました。また、人形を使ったおむつ替えの体験などにも挑戦し、赤ちゃんとふれあう上で大切なことを学びました。最後は、赤ちゃんと保護者の関わり合いを見学しながら、自分たちも優しくふれあいを体験。中高生たちは「遊具を清潔に保つことは大変だと思った」「緊張したが優しく声をかけることができた」と笑顔で振り返っていました。

中高生がふれあい育児体験

次世代のパパ・ママ育成事業

目次 CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
中高生がふれあい育児体験
- P4 特集
この町で生きる、働く、支える。
- P8 町の観光の動き
- P10 町政スポット
・7月20日執行 参議院議員通常選挙投票結果
・令和6年度 ふるさと納税 寄付実績報告 ほか
- P11 まちレポ
・KODAMA カフェ
・児童が俳句づくりに挑戦 ほか
- P14 大沼の浮島 100 年を祝う。
- P16 ももいろメイトのばんげだなはあ
- P17 それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18 健康あさひるばんざい、朝日町の神社と御堂
- P19 戸籍のまど、となりのリングさん
常盤公民館にエアコン4台を設置
- P20 流しそうめん&プールで水遊び

表紙の写真



島の誕生を見守る来場者たち

7月27日に執り行われた「大沼の浮島 国名勝指定100周年記念式典」にて、新たに誕生した島が鳥居のある島（出島）の前に移動した際の1枚。新たな島の一つは、今年の吉方位である西南西に位置する「佐渡之島」と名付けられ、来場者たちは静かに浮遊する島々に見入っていました。

(14・15ページに関連記事有)

町長歳時記 (221)

命をつなぐ

～親から子へ、子から孫へ
引き継がれる「命」～

予定日より二週間ほど早く、娘に長男が授かりました。産休で実家に戻っていた娘が、夜半に体調の変化に気づき、病院に電話して、「すぐ来るように」との指示の下、妻と末娘と三人で病院に向かいました。本人はすぐ戻されるだろうと思いつつも、入院用具も持参してのことでありました。

病院に着き、そのまま入院の報を受け、それでもまだ先の話ではないかと思っていた私の元に、朝7時過ぎ、「母子ともに元気で、無事男の赤ちゃんが生まれました」と、父親になったばかりの娘の夫から喜びの知らせが入りました。

同じように、この身に生を受け、日々暮らしの中で生き続けている私の「生」は、その定められた私の寿命を一秒たりとも私自身の力によって長らえさせることも縮めることもできません。定められた寿命を全うするのが人間であり、すべての生きとし生けるものも、またそうなのではないかと思うのです。生きていくものは必ず死を迎えます。これは万人が等しく認める事実です。しかし現代を生きる私たちは、なるべく「死」に触れない、近づかない、そんな生き方を知らず知らずのうちにやってきたのではないのでしょうか。

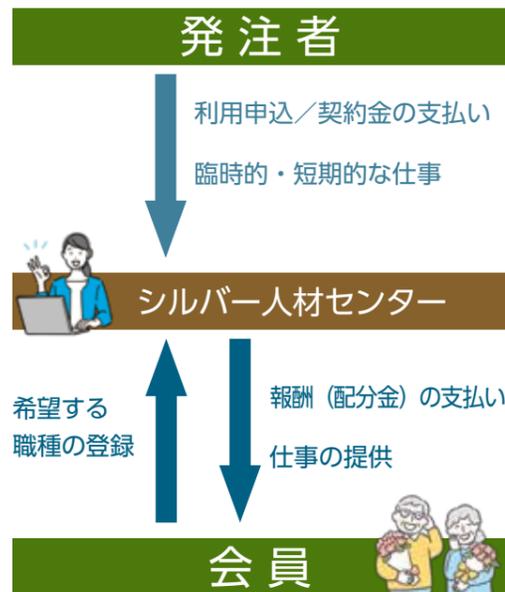
終わりある命も、また新たに生まれ出づる命も深い所で繋がっていて、世界が回っているのかもしれない。

一人の力では如何ともし難い事柄であっても、世代を超え、世代を跨いでいったその先には、真に望まれる世界が必ず実現していくものと確信しております。

世界平和のために、今を生きる私たちが、しっかりと命の尊厳を見極め、命の大切さを共有していったならば、必ずや、この思いが引き継がれ、「命をつなぐ」ことの本当の意味を分かち合うことができる人間社会に到達していくものと思います。

朝町長 鈴木浩孝

【図1】シルバー人材センターの仕組み



【図2】会員数と受託件数の推移

年度	会員数(人)	受託件数(件)
平成 26	119	689
27	112	536
28	108	521
29	110	482
30	115	480
令和 元	120	499
2	122	485
3	114	458
4	106	511
5	101	480
6	101	473

高 齢化が進み、生産年齢人口(15～64歳)が減少する昨今。活力ある町であり続けるためには、高齢者も元気に仕事に取り組み、地域と関わりを持つことが重要となっています。

今回は、一般社団法人朝日町シルバー人材センター(石井喜久男理事長/以降「町シルバー人材センター」と表記)に注目して、定年を迎えた方々の働き方について特集。同センターが担う役割とともに、会員が感じているやりがいや魅力などを紹介します。

シルバー人材センターとは
 地域の高齢者が豊かな知識や経験、能力を生かして働けるよう機会を提供するとともに、地域社会の活性化に貢献する一般社団法人です。同センターは発注者から仕事を受注し、会員の都合や希望に応じて仕事を割り振ります。(具体的な仕組みは【図1】のとおり)

会員数はやや減少
 シルバー人材センターは市区町村単位で置かれ、当町においては平成7年に発足。今年7月25日現在で

109人(男性:72人・女性:37人)が加入しています。【図2】に記載のとおり、昨年度まで会員数はやや減少していたものの、受託件数は新型コロナウイルスの流行が収まった令和4年度に再び増加しています。

地域のつながりを生かすに
 「自主・自立・共働・共助」を基本理念とするシルバー人材センターの事業。収益を重視せず、会員に生活の安定や現役世代の経済的な下支え、そして生きがいの充実を感じてもらおうことを目的としています。



朝日町
 まち・ひと・しごと
 創生総合戦略

基本目標3

高齢者や障がい者がいきいきと住み続けることのできる環境を整える

町の人口減少と少子高齢化の抑制に向けた取り組みのもととする計画「第3期朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容を紹介します。

今回紹介する計画は・・・

計画の全体はこちら▶



高齢者や障がい者が生きがいを持って取り組める「しごと」を創生する

具体的な施策

- 高齢者が自らの能力を活用して社会参加する場の確保を支援する
- シルバー人材センターの運営を支援する



この町で
 生きる、働く、支える。
 シルバー人材センターで輝く人々

Q 入会したきっかけは？
A 定年後、妻から「認知症予防に何かしたら」と勧められたことです。何をしようか考えていたところ、偶然町のお知らせ板でこの仕事の募集記事を見つけ応募しました。

Q 定年前の職業は？
A 浄化槽の管理をしていました。

今の業務は全く違うタイプですが、4日に1回程度と頻度も少ないので負担に感じることはなく、どなたでも取り組みやすいと思います。

Q この業務の魅力は？
A 若い世代の方たちと交流できることです。新鮮な考え方を聞けるので良い刺激になっていきます。話をしながら、定年前の頃から自分の価値観が変わっていき、実感できました。

Q これからの目標は？
A 丁寧な言葉遣いを心がけていきたいですね。マスクの着用、手洗い・うがい・手指消毒もこまめに行い、病院に勤める者の一人として、衛生面は引き続き気を付けていきます。

Q これからの目標は？
A 丁寧な言葉遣いを心がけていきたいですね。マスクの着用、手洗い・うがい・手指消毒もこまめに行い、病院に勤める者の一人として、衛生面は引き続き気を付けていきます。

募集中

勤務開始月日や報酬額など詳細は、町シルバー人材センターへお問い合わせください。

町立病院宿直業務

【勤務頻度・時間】
 毎月7～8日（シフト制）
 午後5時～翌朝8時30分

作業をしながらする世間話が楽しいです
 阿部 あさ子さん（今平） 業務：個人宅の草とり



Q この業務のやりがいとは？
A 作業後に「ありがた様」と笑顔で言ってもらえることが一番のやりがいです。入会してから10年ほどが経ち、退会された方もいて寂しいと感じることもありますが、同世代の会員が多いので、作業中もいろんな話ができて楽しいですね。

Q 心がけていることは？
A 最近はお互いに「水飲んでだろ〜」

Q これからの目標は？
A 体力が限られているので、体調第一に無理しないように気を付けます。引き続き、会員の皆さんと世間話を楽しみながら、また、お互いの体調を気遣いながら、なるべく長く続けていきたいですね。

Q これからの目標は？
A 体力が限られているので、体調第一に無理しないように気を付けます。引き続き、会員の皆さんと世間話を楽しみながら、また、お互いの体調を気遣いながら、なるべく長く続けていきたいですね。

地域とつながり、生きがいに

働くことを通じて、地域とのつながりや会員の生きがいを提供する町シルバー人材センター。同センターの職員である清野洋子さん、朽木時さんにセンターが大切にしていることを伺いました。

町シルバー人材センターの今

定年が引き上げられたことも影響し、会員の応募がやや減少傾向にあり、高齢化も進んでいる状況です。また、人口減少が進むにつれて、人手不足となっている農家さんから農作業を発注いただくことも多くなってきました。

センターでは会員の皆さんが安全に業務に取り組めるように、健康管理を徹底しているほか、雪囲いや剪定などの危険を伴う作業に従事する際はヘルメットを貸与しています。業務を遂行する上で、会員同士の連携が重要になります。会員の皆さんには、定年後の仲間づくりも兼ね

て気軽に仲良く、協力し合って業務に取り組んでいただきたいと思います。

発注を考えている方へ

引き受けた仕事は責任を持って遂行しますので、安心してお申し込みください。なお、危険な業務はお引き受けできない場合がありますのでご理解をお願いします。

また、会員の方々は現役世代よりも体力が限られています。休憩の場を設けたり、トイレを貸したりと、安心して業務に取り組める環境づくりにご理解とご協力をお願いします。

入会を考えている方へ

センターに入会する際、ご自身の希望する業務や出勤の頻度などをお聞きます。業務はお聞きした希望や体力・能力に応じて、特定の個人に



町シルバー人材センターの主な仕事

- 公園の草刈り（とり）
- 公衆トイレの清掃
- 個人宅の草刈り（とり）、庭木の剪定
- 福祉バスの運転
- ふれあい荘のボランティア作業（雪囲い講習会）
- 福祉施設の清掃・洗濯
- 町立体育館、創遊館の日直
- 町立病院の日直・当直

経験や知識を生かしてみませんか？

会員募集中

- 朝日町在住で60歳以上
- 健康で働く意欲がある
- 町シルバー人材センターの趣旨に賛同できる
- 定められた会費などを納入できる

このほかの条件や会費の金額などの詳細はお問い合わせください。

【申込・問合せ先】
 一般社団法人朝日町シルバー人材センター ☎67-2940

3つの話題で見る

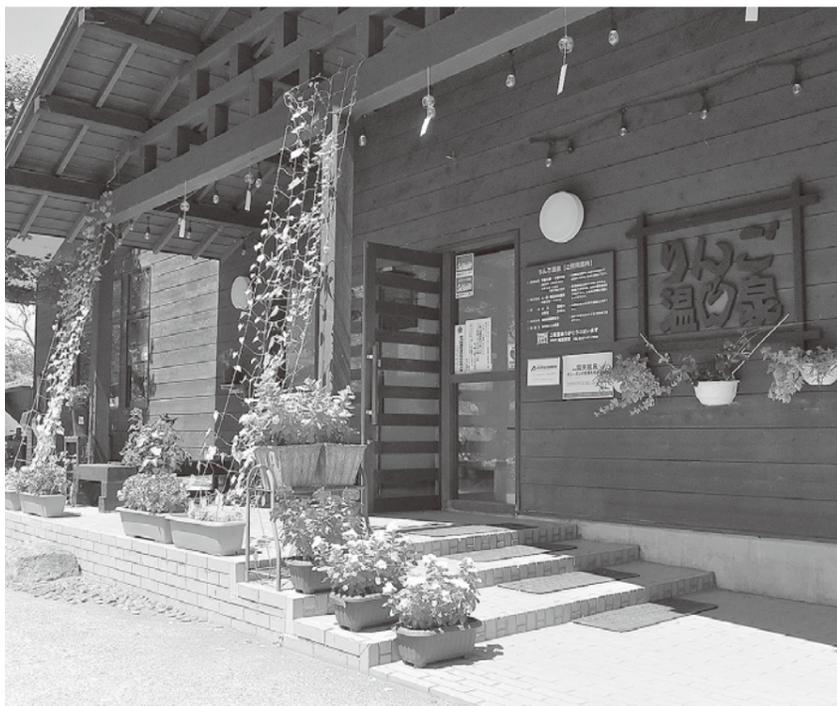
町の観光の動き

人々が集うにぎわいの場をふたたび

りんご温泉宴会場9月に復活

町の観光交流3施設の運営会社統合（＝株式会社朝日町総合産業開発）や、観光に注目した地域づくりを図る協定締結（詳細は本紙4月号に掲載）など、大きな動きを見せている町の観光振興。今回は「りんご温泉」に注目した地域活性化「朝日自然観スキー場」の現状をお知らせします。

なお、令和8年10月にブランドオープンを予定している「朝日自然観コテージ村」の再整備状況については今後詳しく紹介していく予定です。



現在予約受付中

宴会場：9月11日（木）オープン

【料金（一人あたり／税込）】

- 会席料理……6,000円
- 花籠膳……3,500円（その他コースあり）
- お祝い・ご法要膳……8,000円、10,000円

【予約・問合せ先】

りんご温泉 ☎67-7888

※宴会場は毎週水曜日定休となります。

りんご温泉2階の宴会場が9月11日にオープンします。各コースの料金は上記のとおりで、利用の際は温泉にも入浴できます。

オープンに先立ち松田勝美

オープンに向けて臨時休業となります

厨房の改修工事に伴い器材を搬入するため、下記の2日間が終日臨時休館となります。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

- 8月20日（水）
- 8月21日（木）



改修が進む厨房

三大都市圏の民間人材が地域活性化に尽力

3人の地域活性化起業人

地域活性化起業人制度

三大都市圏に所在する民間企業などに勤める社員が、一定期間地方公共団体に派遣され、ノウハウや知見を生かしながら地域の活性化につながる業務に取り組む総務省の制度。町はこの制度を活用し、現在3人の民間人材が活動しています。



佐藤岳利事務所 佐藤岳利さん



株式会社GLOBAL 伊藤健介さん



株式会社COCOL 伊藤理花さん



スキー場一部リフトを廃止

コース拡大し魅力アップ

ハートピアおよびエアートップのリフトは、老朽化による大規模な修繕が必要になることから「朝日自然観中期運営計画」（平成31年策定）に基づき、廃止の方向で検討を

進めてきました。そして、今年4月に発生したハートピアゲレンデの大規模崩落を受けて、正式に廃止することとなりました。

一部のゲレンデが廃止とはなりますが、新たなスキー場の魅力を保つため、利用率の高いファンタジーゲレンデを拡張します。具体的には、立木の伐採と旧ハーフパイプ部分を改良して、1枚バーンとし、中上級者やボーダーでも楽しめる魅力あるファンタジーゲレンデを目指します。

▲ファンタジーゲレンデの平面図。囲われている部分が改修されます

派遣されているのは、森林サービス産業を行う佐藤岳利事務所の佐藤岳利さん、観光プログラムやコンテンツづくりに取り組む株式会社GLOBALの伊藤健介さん、特産品の開発や地域の魅力発信に取り組む株式会社COCOLの伊藤理花さん。3人は株式会社朝日町総合産業開発に配属されており、月半分（約10日間）勤務。それぞれの分野の推進に取り組むとともに、観光や宿泊など町の自然を生かした観光コンテンツの開発に取り組んでいます。



7/8
9 KODAMA カフェ

at LOUNGE (大町) にて朝日中学校特別支援学級「こだま学級」の生徒による喫茶店「KODAMA カフェ」がオープンしました。この喫茶店は生徒の自立を図るため、約10年前から取り組まれており、生徒はメニューの考案や当日の接客を行います。店内は手づくりされたリースなどの装飾で彩られ、メニューには自分たちで味付けした「タピオカ黒糖ミルクティー」や町内店舗のお菓子などが並びました。生徒は2日間にわたり、訪れた約60人のお客さんを丁寧にもてなしていました。

散策前に浮嶋稲荷神社で参拝



俳句は10月10日まで募集中。詳しくはこちら▶



7/9 めざせ俳句名人
9 児童が俳句づくりに挑戦

大沼の浮島が国から名勝指定を受け、今年で100周年を迎えるにあたり俳句大会が開催されます。この大会に出品するため、大谷小学校の全校児童が浮島を訪れました。事前に朝日中学校の横井真人校長から俳句の作り方を、朝日町統括地域コーディネーターの長岡信悦さんから浮島の歴史などを学んだ子どもたち。当日は長岡さんの説明を受けながら周辺を散策して学区内の宝物の魅力を知り、自由な発想で一句を作り上げていました。

7/9 喉と心の渴きを癒す
9 長寿クラブ女性会員交流会

秋葉山交遊館を会場に、長寿クラブの女性会員交流会が行われました。コミュニケーションを楽しみながら、会員同士の親睦を深めることを目的として行われるこの交流会。当日は町内在住の約20人が参加し、照園会(煎茶道方円流/落合照園会長)の皆さんより、そば茶や玉露などが振る舞われました。参加者からは「いつもせわしない日々を送っているの、ゆったりと過ごせて良かった」と穏やかな時間を振り返っていました。

7/12 新たなつながりを築く
12 海の子・山の子交流「海のつどい」

平成14年度から続いている「海の子・山の子交流事業」が宮城県七ヶ浜町で行われました。友好の町協定を結ぶ海の町「七ヶ浜町」と山の町「朝日町」の児童が互いの町を訪れ、地域の文化や自然を体験しながら学ぶとともに交流を深めるこの事業。今年は宮宿小学校の6年生と七ヶ浜町立松ヶ浜小学校の4・5年生が参加しました。子どもたちはダーツ大会で交流を深めたほか、ヒラメの稚魚の見学や、海岸の散歩など海の町ならではの体験を楽しみました。

◀ヒラメの稚魚の見学



投票率70.67% 7月20日執行 参議院議員通常選挙投票結果

■ 山形県選出 (朝日町開票区)

候補者名	党派名	得票数
大内 りか	自由民主党	1,594
はが 道也	無所属	1,553
佐藤 ともあき	参政党	312
三井寺 修	日本共産党	65
大貫 学	NHK党	34
無効	—	40
按分の切り捨て	—	0
合計		3,598

7月20日に執行された第27回参議院議員通常選挙において、山形県の投票率は全国で最も高い62.55%で、朝日町の投票率(県選出)は70.67%と県内で7番目の投票率となりました。

■ 比例代表選出 (朝日町開票区)

政党等の名称	得票数	政党等の名称	得票数
日本共産党	119.000	れいわ新選組	187.000
日本維新の会	75.000	日本改革党	2.000
無所属連合	10.000	自由民主党	1,345.000
日本保守党	77.000	再生の道	23.000
立憲民主党	442.636	公明党	391.984
参政党	285.000	NHK党	14.000
国民民主党	375.378	無効	124.000
チームみらい	27.000	按分の切り捨て	0.002
日本誠真会	4.000		
社会民主党	95.000	計	3,597.000

一昨年度より284万円増 令和6年度 ふるさと納税 寄付実績報告

昨年度返礼品に追加された山形牛

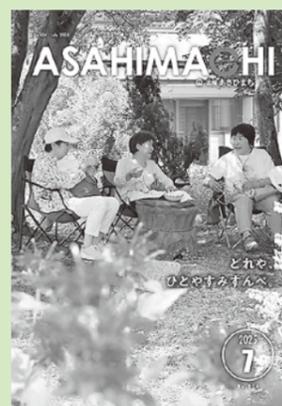


昨年度の朝日町への「ふるさと納税」は総計で寄付件数8004件、寄付額は1億2266万円となり、令和5年度より284万円の増額となりました。寄付者が希望する寄付金の活用事業で最も多かったのは「町長におまかせ事業」(若者移住・定住促進や学校給食の負担など)、次いで「りんごどワインの里の産業・観光事業」(各種まつりの開催にかかる経費や創業支援補助など)と続き、産業界や観光への関心の高まりが伺えます。いただいた寄付金は有効に活用し、魅力ある朝日町となるよう努めてまいります。

広報紙でふるさとのぬくもりを

「町外に住んでいるけれど朝日町の情報が欲しい」「ふるさとのぬくもりを感じたい」といった声にお応えするため、町外在住者の広報あさひまちの定期購読を受け付けています。遠方にお住まいの家族や親類の方々にぜひご紹介ください。

- ▶料金 年間1,680円(1カ月あたり送料140円)
- ▶申込み 下記へ電話またはメールなどでお申し込みください。後日、郵便払込取扱票をお送りします。
- ▶申込み先 政策推進課 総合政策情報係
☎67-2112
mail: inform@town.asahi.yamagata.jp





7/30 いつまでも元気に過ごす秘訣を知る
第1回 寿大学

中部地区の65歳以上の住民を対象に、生きがいづくりなどを目的とした中部公民館事業「寿大学」が創遊館で開催され、約30人が参加しました。

今年度1回目となる今回は「健康」をテーマに実施。参加者は自身の体の状態を確認しながら、介護予防に向けたストレッチや、誤嚥性肺炎を予防するための喉・口の体操を学習。これまでの生活を見直すとともに、健康で長生きすることへの意識をより高めていました。



8/2 焼き上がりを楽しみに
いもがわ少年教室

今年度第1回目の「いもがわ少年教室」が、西五百川小学校1・2年生の学年行事と合わせて西部公民館にて開催されました。

当日は約10組の親子が参加し陶芸を体験。講師の長岡雅彦さん（太郎第三区出身）指導のもと、親子で力を合わせながら、自由な発想で皿やコップなどを「手びねり」の技法で形づくりました。

今回作った作品は11月に開催される町芸術文化祭にて展示される予定です。



設置されたカカシと前田沢いきいきクラブの皆さん

7/18 子どもたちに人気のキャラクターが国道に
前田沢区に交通安全カカシ

前田沢交差点近くの国道287号線沿いに、前田沢いきいきクラブの皆さんが制作した交通安全カカシが立てられました。

夏の交通安全を推進するため、23年前から続くこの取り組み。今年は子どもたちを中心に人気を博しているキャラクターがテーマとなっています。同クラブ会員の長岡一美さんは「若い人や大工さんも制作に加わってくれたおかげで、例年以上に良い出来となった。交通安全を心がけながらぜひ注目してほしい」と、完成度の高さに笑顔を見せていました。



7/18 院内に響く癒しと活力
町立病院でライブ

朝日町立病院にて、シンガーソングライターの松尾貴臣さんによる「ホスピタル（病院）ライブ」が開催されました。

千葉県を拠点に音楽活動を行っている松尾さん。闘病中の方の姿を見て作成した曲に、多くの人々から感動の声が寄せられたことをきっかけに、約20年前から全国の病院や介護施設を巡ってライブ活動を続けています。来場者からは「声を通して聴き取りやすく、オリジナルソングに込められた思いも伝わり良かった」と感動の声が上がっていました。



恐竜も登場し大興奮の子どもたち▲

7/19 幅広い世代がにぎやかに過ごす
緑が丘公園で夏まつり

星の会（成原千枝会長）が主催する夏まつりが、緑が丘公園を会場に開催されました。

当日は出店のほかに、ボランティア活動の一環で参加した朝日中生による縁日コーナーが登場。また、来場者がカラオケを熱唱したり、輪になってあさひ音頭や花笠踊りを踊ったりしたほか、子どもたちを対象とした宝探しや花火の配布が行われました。子ども連れを中心に町内外から多くの方が訪れ、会場にはにぎやかな声が響きわたっていました。



7/25 足からはじまる健康づくり
ヘルシーライフ教室

健康づくりの知識習得を目的とした「ヘルシーライフ教室」が役場ホールで開催され、12人が参加しました。

今年度2回目の開催となる今回は、「糖尿病と足の関係」をテーマに実施。冒頭では、糖尿病とその合併症の一つである壊疽について講話が行われ、参加者は足の観察の重要性について学び、早期発見の必要性を再認識していました。続いて、正しい靴の履き方や足のケア、簡単なストレッチの実践を通して、足を意識した健康づくりへの理解を深めていました。



縄文時代の生活の痕跡
馬神昭和新田遺跡の発掘調査

主要地方道長井大江線大谷工区の整備に伴い、馬神地内で公益財団法人山形県埋蔵文化財センターによる「馬神昭和新田遺跡」の発掘調査が行われました。

調査は遺物が発見された730㎡を範囲に5月から8月8日まで実施。遺跡からは、縄文時代晩期（約2,600年前）に作られたと考えられる深鉢形土器や、縄文時代中期（約4,500年前）に相当する縄文の女神*と類似した土偶の破片などが発見。このほか、石匙（ナイフ）や磨製石斧なども確認されました。

遺物が調査区の北半部から多く出土していることから、遺跡の中心部はさらに北側に存在している可能性が考えられます。今後、北側の調査を進めることで、縄文時代以降の人々の暮らしがさらに明らかとなる事が予想されています。

*舟形町西ノ前遺跡から発見された国宝土偶



7月21日には調査結果の説明会が行われ、約50人が参加しました▲



大沼の浮島



100年を祝う。

白鳳9年（680年）に発見されてから現在に至るまで、神祕の沼として多くの人々を魅了してきた大沼の浮島。

大正14年10月8日に国の名勝に指定されてから、今年で100年の節目を迎えることを記念して7月27日、記念式典が行われました。

フォークコーラスグループ「あめっかぜ」による浮島を題材にした楽曲の披露で幕を開けた式典。その後は浮嶋稲荷神社の最上俊一郎宮司らによる神事や、浮嶋雅楽保存会の演奏に合わせて巫女の舞が奉納されました。

また、湖畔から新たに切り出した島に、その年の吉方位にある旧国名にちなんだ名前を付ける「島出し」も実施。今年の吉方位は西南西で、新たな島は「佐渡之島」（新潟県の西部に位置する島）と命名されました。
区民をはじめとする約130人の来場者は、水面を漂う島を静かに眺めながら、大きな節目に思いをはせていました。



町公式ホームページにも
写真を掲載 ▶



町公式 Instagram には
動画を掲載 ▶





町地域おこし協力隊と桃色ウサヒの「中の人」こと、佐藤恒平情報交流総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

恵まれた自然環境で成長を

りんごの郷の担い手 桑山 洋典 (東京都出身)



りんごの摘果の様子

指導農家さんの元での研修のほか、地域の人足などにも参加するようになりました。そこでよく「都会から来る朝日町は何もない所でしょう」と朝日町は何かない所でしょう

「う？」などと聞かれるのですが、とてもおいしい水（お料理もおいしくなる）と豊かな自然は、都会は元より近隣の寒河江市や山形市にもない、朝日町だけが持っているのだと思います。とりわけ、薬剤散布の折に朝早く霧にかかった景色を見ると、水墨画というのほまさに「こう言った景色の写実なんだ」と感じられます。

この恵まれた環境の中で、これからも頑張って活動していこうと思えます。

イベントでつくる大谷のにぎわい

大谷地区まちづくり推進員 吉田 沙織 (宮城県出身)



ハンドケア後は肩と背中ケアをしています

協力隊に着任してから、もう少しで1年半が経とうとしています。その間、大谷地区民の方をはじめ町民の皆さんには、さまざまなイベントに

参加していただきました。ご協力ありがとうございます。現在は、秋葉山交遊館で月に1回カラオケ交流会や、みんなの居場所「すぽっと」でハンドマッサージ交流会を開催しています。今後は大谷地区で健康教室や、前回の開催で好評をいただいたスイーツ&コーヒーのイベントをりんごを使って企画中です。

8月には大谷盆踊りと風神祭が開催されます。暑い大谷のイベントでお待ちしております。

ももいろメイトの ばんげだなはあ

ももいろメイトこと朝日町食生活改善推進協議会会員が、子どもたちに伝えたい朝日町の郷土料理を紹介します。

第14回



夕顔あんかけ

【材料】(4人分)

- 夕顔 300g
 - 鶏ひき肉 50g
 - サラダ油 小さじ 1
 - だし汁 150ml
- A**

 - 醤油 大さじ 1 と 1/3
 - 酒 大さじ 1
 - みりん 大さじ 1
 - 塩 少々

B

 - 片栗粉 大さじ 1
 - 水 大さじ

夏に大きく育つ夕顔は、煮るととろけるような食感になるのが特徴です。さっぱりした味付けが暑い山形にぴったりのヘルシーな一品。夕顔は煮崩れしやすいので、弱火でじっくり煮るのがおすすめです。お好みでひき肉やエビ、カニカマなどを加えてもおいしく食べられます。まれに、夕顔の果実に苦味成分（ククルビタシン類）が多く含まれる場合がありますので、苦味を感じた場合は注意しましょう。

町公式ホームページにもレシピを掲載▶



調理に携わった
ももいろメイトの皆さん



作り方



夕顔は厚めに皮をむく。縦半分にして中わたを取り除き、一口大に切る。



鍋にサラダ油を熱し、鶏ひき肉を炒める。



2に1とだし汁を加えて柔らかくなるまで煮る。



3にAを加えて味をととのえ、夕顔が透き通るまで煮る。



Bで水溶き片栗粉を作り、4に回し入れてとろみをつける。



町立図書館新刊案内

「ババヤガの夜」

王谷晶 著
河出書房新社
お嬢さん、十八かそこらで、なんでそんなに悲しく笑うー。暴力を唯一の趣味とする新道依子は、腕を買われ暴力団会長の一人娘を護衛することに。日本人初の快挙、世界最高峰のミステリー文字賞・ダガー賞(翻訳部門)を受賞。

「自愛さん」

矢部太郎 著
PHP研究所
いつもの自分を、大切に。お手紙の最後に「ご自愛ください」とひと言をえるように描かれた、心がふっと軽くなる55のマンガと言葉。

「麦ちゃんのめがね」

最上一平 作
かつらこ 絵
新日本出版社
麦ちゃんは、めがね屋さんに行って、フレームがうすいすみれ色のめがねを作りました。引っ込み思案な麦ちゃん。でもめがねをかける。織細な麦ちゃんがどくどくの視点で、クラスのお友だちそれぞれをあたたく見つめる物語。

「その他の新刊」

▼フロントライン／増本淳
▼トットあした／黒柳徹子
▼チョコレート・ピース／青山美智子
▼サイレントシンガー／小川洋子
▼パズルと天気／伊坂幸太郎
▼天才望遠鏡／額賀 滯
▼リボンちゃん／寺地はるな
▼体を癒やす夏スープ／夏野菜たっぷり ●薬膳と栄養学 ●簡単美味！ ●西岡麻央
▼ご当地絶景東北！すぐ行ける、非日常の大パノラマ ●かんたん薬膳 季節の不調が内側からととのう ●瀧本靖子
▼夏のりきるラクごはん77 ●灼熱の夏も「おいしい」をあきらめない、すべての人へ ●上田淳子
▼すいかのたねーとれたて！産地直送しんせん！ ●押本達希
▼この世は生きる価値がある／長谷川まりる ●おかしなヒミツ研究所 科学でわかる！おもしろさのナゾ／3時のおやつ科学機構 ●異常気象の教科書 気候変動がヤバイ！ ●齋藤勝裕 ●すぐすぎる数の図鑑 数字がわかれば世界がわかる！ ●渡邊遼 など



【ブックテマコーナー】
今年の夏は猛暑
対策あれこれ
暑さをクールダウン

戸籍のまど

Asahi town

7月1日～7月31日届出

Births すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
大町	井上 彩功	男	正伸・詩織

Obituaries やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
栄町	村山 七郎	美 惠
沼向	菅井 ひで子	善 雄
夏草	佐竹 をみよ	良 晃
太郎第一	長岡 とめ	本 喜恵子
大谷第四	白田 剛	良 明
大谷第二	渡辺 茂子	義 雄
中沢	堀堀 邦枝	サダエ
水本	岡崎 誠一	本 人
大谷第五	白田 利幸	英 子
雪谷	斎藤 重子	本 宏
大谷第五	斎藤 秀一	宏 仁
松程	鈴木 高彦	美 弘
水本	高橋 久	利 弘
四ノ沢	熊谷 久	利 弘

Population 人口と世帯数

●令和7年 7月31日 現在 ※()内は先月比

人口	5,690 人 (-13)
男	2,848 人 (-4)
女	2,842 人 (-9)
世帯数	2,290 世帯 (±0)

----- 7月中の異動 -----

出生	1人	転入	9人
死亡	14人	転出	8人

(※外国人を含む)

こなのリンゴさん (372) ホリイ



熱中症からカラダを守ろう!



【令和7年度 第5回】 今月の担当 … 小松 星奈 保健師

熱中症は屋外、屋内を問わずどこでも発症し、場合によっては死に至ることもありま。症状は頭痛や吐き気、全身倦怠感、失神などさまざまあります。

特に高齢者や乳幼児は、体温調節機能の衰えや未熟さによって体内に熱がこもりやすいため、暑さを自覚しにくいリスクが高いといえます。

熱中症対策の基本は**こまめな水分補給**です。のどが渇く前に、または暑い場所に行く前から水分を補給しておくことが大切です。また、**日々の食事も、日頃の体調管理**も重要です。十分な休養とバランスのよい食事を心がけましょう。また、室内でも熱中症になる危険があるため、エアコンや扇風機を活用し、**室内が28℃を超えないよう調整**しましょう。特に重要なのは就寝時の対策です。寝ている間は汗をかくても気づきにくいので、夜間も冷房を切らずにつけおくことが推奨されています。



▼健康福祉課 保健医療係
☎67-2116

もし、熱中症の症状が見られたら、すぐに涼しい場所へ安静にして水分・塩分の補給をしましょう。激しい頭痛や吐き気、高熱など症状が重い場合は、速やかに受診しましょう。また、自力で水分が取れない、異常行動や意識障害が見られる場合は、すぐに救急車を呼びましょう。症状に応じて素早く適切な処置を行うことが大切です。

熱中症はしっかりと対策をとることで予防することが可能です。自分だけでなく周囲の人の健康を守るためにも熱中症について正しく理解し対策を身に付けておきましょう。



▲同公民館では毎週日曜日に麻雀教室が開催されています

常盤公民館にエアコン4台を設置

コミュニティ助成事業*を活用し、常盤公民館にエアコン4台が整備されました。

今後公民館を拠点としてさまざまな世代が交流する事業を展開し、地域のコミュニティ活動をさらに活性化させることが期待されます。

※コミュニティ助成事業
一般財団法人自治総合センターによる宝くじの社会貢献広報事業。コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備などに助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与しています。

第28回 山神社 (杉山)

【所在地】杉山集落の北部、杉山公民館の隣に建つ

祭神は大山祇神で、明治6年(1873)には杉山村の村社になっています。いつ頃からあるのかは分かりませんが、地区内の清水が湧出する所に水神として祀った石堂には享保19年(1734)4月19日村中とあり、杉山には戦国時代の楯跡や、米沢藩との国境で松山藩の番所があったことなどから、それ以前から山神社の崇拝があったものと思われます。



明治24年(1891)5月に火災により社殿が全焼し、翌年3月に再建されており、さらに昭和54年(1979)3月には強風で境内の杉の大木が倒れ、社殿も倒壊し、翌年5月には再建されるなど、地区民の信仰のあつさがうかがえます。

うさぎのゆるっと解説

堂内に掲げられた、文久元年(1861)に奉納された俳額には仁和足大明神とあり、川辺の集落で最上川の舟運との関わりも考えられるんだよ。また、最近では地区内にあった神明神社が山神社に合祀されているんだよ。





食べて遊んで、
暑さを吹き飛ばせ！

流しそうめん & プールで水遊び

8月3日、松本亭一農舎（常盤）を会場に、流しそうめんと水遊びを楽しむイベントが開催され、約20人の子どもたちが参加しました。

このイベントは夏休み期間中の子どもたちが集まって一緒に遊べるようにと、地域おこし協力隊の今野颯隊員、工藤大輔隊員、工藤

香織隊員が企画したものです。

子どもたちは、竹の上を流れるそうめんやミニトマトに夢中で箸を伸ばしてお腹を満たした後、水着に着替えてプール遊びを楽しみ、暑さを吹き飛ばすようにイベントを満喫していました。

春夏秋冬 編集後記

どなた様も
熱中症には十分
お気を付けください

今回はシルバー人材センターをテーマにした特集を組みました。コミュニケーションを楽しみながら、真摯に作業をこなす会員の方々に近くで見て、私自身も仕事に対するモチベーションが上がった気がします。会員は常時募集しておりますので、興味がある方はぜひ一度お問い合わせください。

さて、この記事を書いている8月4日は快晴。2日には勢いよく雨が降りましたが、皆さんご存知のとおり、その前後は晴天が続いて

います。川の水位も下がり、ニュースからは米農家さんの収穫を不安に思う声も。屋外での催し物が予定どおり行えるという点では晴れはありがたいのですが、これほど晴天が続くと、この先が心配です。

1カ月予報によると、今後暑い日が続きそうです。本紙18ページの「健康あさひるばんざい」にも記載のとおり、こまめな水分補給と体調管理を心がけながらお過ごしください。

岡崎 陽果